

令和2年度 防災・日本再生シンポジウムをオンライン開催

テーマ「海溝型地震による広域複合災害の想定と効果的な減災対策・避難を考える」

【概要】

北海道大学広域複合災害研究センター（CNHR）は、「海溝型地震による広域複合災害の想定と効果的な減災対策・避難を考える」をテーマにシンポジウムを開催します。シンポジウムは北海道大学学術交流会会館で開催し、参加希望者にオンラインで配信します。

※当初、集会を予定しておりましたが新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえオンラインに変更となりました。

【趣旨】

近い将来発生が予想される千島海溝・日本海溝地震により、北海道沿岸部への津波の襲来、内陸部での大規模な土砂災害など、異種ハザードの連鎖複合的な発生が懸念されます。

本シンポジウムでは、北海道大学における防災に関わる全学的な組織である広域複合災害研究センターが、日頃から蓄積している地震時、地震後の広域複合災害や減災に関する研究成果を地域住民や行政の防災担当者に向けて発信します。

さらに、北海道特有の寒冷地避難やウイルス流行下の避難方法に関する討論会を開催し、広域複合災害や効果的な減災対策についての理解をより深めることを目的とします。

- 【日 程】** 令和2年11月24日(火)13時00分～16時00分（受付：12時30分から）
- 【場 所】** 北海道大学 学術交流会館（札幌市北区北8条西5丁目） 札幌駅北口より徒歩7分
- 【主 催】** 北海道大学 広域複合災害研究センター
- 【共 催】** 一般社団法人 国立大学協会
- 【後 援】** 釧路工業高等専門学校、北海道開発局、北海道、北海道立総合研究機構、札幌市、NHK 札幌放送局
- 【対 象】** 自治体防災担当者、一般市民
- 【募集人数】** オンライン開催（無観客）のため制限なし
- 【参加費】** 無料
- 【言 語】** 日本語
- 【プログラム】** 13:00～13:05 開会挨拶 寶金清博（北海道大学総長）
- 13:10～14:25 一般講演「海溝型地震による広域複合災害の想定」
- 13:10～13:25 「海溝型地震と津波浸水想定」
谷岡勇市郎（北海道大学大学院理学研究院 教授）

13:25～13:40 「海溝型地震による広域複合災害の自助・共助・公助の効果と札幌市の課題」

岡田成幸（北海道大学広域複合災害研究センター 特任教授）

13:40～13:55 「地震に起因する土砂移動と土砂災害」

厚井高志（北海道大学広域複合災害研究センター 准教授）

13:55～14:10 「積雪期の大規模地震による斜面災害」

桂 真也（北海道大学大学院農学研究院 助教）

14:10～14:25 「地震の経済被害」

石井吉春（北海道大学 客員教授）

14:30～15:55 パネルディスカッション「効果的な減災対策・避難の検討」

パネリスト

橋本雄一（北海道大学大学院文学研究院 教授）

招待講演：「GIS でみる積雪期の津波避難移動の課題」

草苺敏夫（釧路工業高等専門学校 教授）

招待講演：「冬季における避難所運営～HUG の活用を通じて～」

根本昌宏（日本赤十字北海道看護大学看護薬理学領域 教授）

招待講演：「感染症蔓延下の避難生活で想定される災害関連疾患」

高橋丞二（国土交通省北海道開発局事業振興部 調整官）

頼富重人（NHK 釧路放送局報道部 記者）

招待講演：「防災・減災にむけた NHK の取り組み」

コーディネーター

笠井美青（広域複合災害研究センター 副センター長・准教授）

15:55～16:00 閉会挨拶 山田 孝（北海道大学広域複合災害研究センター長・教授）

【申込方法】 当日、センター長への取材を希望する場合（シンポジウム終了後に対応予定）はその旨を明記の上、メールまたは FAX で 11 月 23 日(月)までにお申し込みください。

メール：cnhr-unei@cen.agr.hokudai.ac.jp

F A X：011-706-4695

お問い合わせ先

北海道大学広域複合災害研究センター 准教授 厚井高志（こういたかし）

T E L 011-706-3882 F A X 011-706-4695 メール koi@cen.agr.hokudai.ac.jp

U R L <https://www.cnhr.info/contact-us>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北 8 条西 5 丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp